

授業科目	管理栄養士演習Ⅰ						実務家教員担当科目	-			
単位	2	履修	選択	開講年次	4		開講時期	通年			
担当教員	山田 志麻／岡部 明仁／尾上 均／木村 宏和／高崎 智子／藤和 太／船越 淳子／天本 理恵										
授業概要	管理栄養士養成科目のうち基礎系科目を統合的に理解し、国家資格取得に必要な十分な知識を養うために次のような授業を行う。 1. 管理栄養士国家試験教科の各分野の出題傾向とポイントを解説する。 2. 国家試験の出題問題を中心に、各教科ごとの問題をテストし、解答と解説を行う。 3. 授業はオムニバス形式とする。										
授業形態	対面授業				授業方法	-					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』『応用栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明できる（DP1-2, DP2-1）。 標準的なレベルでは、管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』『応用栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において、『60%』の正解率を出せる能力を有する（DP1-2, DP2-1）。										
理想的レベル	理想的レベルでは、管理栄養士国家試験教科『社会・環境と健康』『人体の構造と機能及び疾病の成り立ち』『食べ物と健康』『基礎栄養学』『応用栄養学』の分野の出題傾向と重要点を説明でき、国家試験において、『80%』の正解率を出せる能力を有する（DP1-2, DP2-1）。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			100								
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
予習：講義内容の予習をし、理解する。										1	
復習：演習で解いた問題を整理し、理解する。											
授業計画											
第1回	【前半のオリエンテーション、食べ物と健康：調理学Ⅰ】 管理栄養士国家試験における午前問題のガイドラインについて説明する。 過去の国家試験等の「調理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：山田志麻										
第2回	【社会・環境と健康：公衆衛生学Ⅰ】										

	国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第3回	【社会・環境と健康：公衆衛生学2】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第4回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学1】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第5回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学2】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第6回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：生化学1】 国家試験過去問等の「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：尾上均
第7回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学1】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第8回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学2】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第9回	【食べ物と健康：食品学1】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第10回	【食べ物と健康：食品学2】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第11回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学1】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第12回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学2】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第13回	【応用栄養学1】 国家試験過去問等の「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第14回	【基礎栄養学1】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第15回	【基礎栄養学2】

	国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第 16 回	【後半のオリエンテーション、調理学 2】 後期における学習の留意点等を解説する。 過去の国家試験等の「調理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：山田志麻
第 17 回	【社会・環境と健康：公衆衛生学 3】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第 18 回	【社会・環境と健康：公衆衛生学 4】 国家試験過去問等の「公衆衛生学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：藤和太
第 19 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学 3】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第 20 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：解剖生理学 4】 国家試験過去問等の「解剖生理学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：岡部明仁
第 21 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：生化学 2】 国家試験過去問等の「生化学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：尾上均
第 22 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学 3】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第 23 回	【人体の構造と機能、疾病の成り立ち：臨床医学 4】 過去の国家試験等の「臨床医学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：高崎智子
第 24 回	【食べ物と健康：食品学 3】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第 25 回	【食べ物と健康：食品学 4】 国家試験過去問等の「食品学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：船越淳子
第 26 回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学 3】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和
第 27 回	【食べ物と健康：食品衛生学・食品加工学 4】 国家試験過去問等の「食品衛生学」「食品加工学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：木村宏和

第 28 回	【応用栄養学 2】 国家試験過去問等の「応用栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第 29 回	【基礎栄養学 3】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
第 30 回	【基礎栄養学 4】 国家試験過去問等の「基礎栄養学」分野の出題傾向とポイントを解説する。 担当：天本理恵
テキスト	1. 各科目の教科書 2. 「レビューブック 管理栄養士」(株式会社メディックメディア)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1. 図書館に配架している各出版社の国家試験問題集、傾向と対策、全科の要点等 ・「管理栄養士国家試験受験必修過去問集」(女子栄養大学出版部) ・クエスチョン・バンク管理栄養士国家試験問題解説(株式会社メディックメディア) 2. 必要に応じてプリント等配付する。
課題に対するフィードバックの方法	授業の習熟度や課題(予習・復習)の評価のために、中間試験と定期試験を実施する。 前期は中間試験を実施する。中間試験に合格することを後期の定期試験の受験要件とする。
学生へのメッセージ・コメント	管理栄養士国家試験合格を目標に、以下の点に留意の上、管理栄養士演習の講義に臨んで下さい。 1. これまで学習した国家試験に関わる科目の復習を必須とする。 2. 前期終了までに 5 年分の過去問を 3 回解きなおしておく必要がある。 3. 国家試験合格を目指す者は、本科目受講のみの学習では不十分であるため、各担当教員が年間を通じて実施する分野ごとの補講に出席することが望ましい。 4. 試験は、前期中間試験と後期定期試験の 2 回とし、内容は国家試験に準ずる。試験の詳細は講義の中で説明する。 5. 国家試験合格を目指す者は、前期中間試験および後期本試験で 6 割を超えることが目安となる。